

ワンポイントレッスン（ルール・マナー編）		No.	8-1
タイトル	ケーススタディー（1）	作成日	2022/7/1
		作成者	M.Komito

ノーアウトランナー1、2塁であなたの打順です。



送りバントのサインに従い、1塁側へバントしました。

1塁へ向かって走り出したところ、前進してきた1塁手がこの打球を処理し、1塁へ走っているあなたにタッチしようと向かってきました。

ランナーの足が遅いため、タッチアウトされる時間を少しでも稼ぎたい状況です。この時、あなたはどちらを選びますか？

- (1) 立ち止まる
- (2) 後ずさりする

答えは、次ページ

ワンポイントレッスン（ルール・マナー編）		No.	8-2
タイトル	ケーススタディー（1） （解答編）	作成日	2022/7/1
		作成者	M.Komito

まず、（1）のケースで、あなたはタッチアウト、ランナーがそれぞれ2、3塁に進塁したとしたら、1アウト2、3塁となり、送りバント成功となります。

（2）のケースですが、
8-2項12で「打者走者が野手の触球を避けようとして本塁の方向に後ずさりした時は、ボールデッド、打者走者アウト、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない」と規定されています。

即ち打者走者のあなたが後ずさりした時点で、ボールデッドとなり、ランナーは元の塁に戻され、1アウト1、2塁で再開となります。

心理的には後ずさりしたくなるケースですが、このルールを知らないと折角いいバントをしても、無駄になってしまうことになるので、十分気をつけて下さい。

ちなみに、野球規則では打者走者の本塁方向への逆走（後ずさり）は認められています。MLBでもタッチを避けて打者走者が逆走しているシーンがありました。

ランナーの離塁アウトやリエントリーなどは、ソフトボール独特のルールとして知っている人は多いと思いますが、この後ずさりルールは以外に知られていません。この機会に是非覚えて下さい。